

八千代市 上下水道耐震化計画(上下水道)

八千代市
策定令和7年1月

1 目標¹

八千代市では、災害に強く持続可能な上下水道システムの構築に向け、対策が必要な急所施設について、今後、概ね15年間で耐震化を完了することを目指す。このうち令和7年度から令和11年度の5年間では、配水施設のなかでも本市の水道施設において最も重要な受水設備及び導水施設を最優先に耐震化を実施することを目標とする。

また、対策が必要な避難所等の重要施設については、大規模災害による多数の傷病者の発生に対する重要な医療施設及び避難所等並びにこれらの重要施設から流域下水道までの管路近辺にある避難所等も重要施設として位置付けた。

これらの重要施設に接続する上下水管路について、今後、概ね30年間で耐震化を完了することを目指す。このうち令和7年度から令和11年度の5年間では、千葉県及び本市の最も重要な医療施設である東京女子医科大学八千代医療センターに接続する上下水管路の耐震化を実施することを目標とする。

2 計画期間

令和7年4月～令和12年3月

3 下水道処理区域内における避難所等の重要施設²の設定(上下水道共通)

区分	下水道処理区域内における避難所等の重要施設(上下水道共通)	
	施設数	施設名称
対象全施設数	13	東京女子医科大学八千代医療センター、勝田台病院、八千代台東小学校、八千代台近隣公園小体育館、八千代中学校、萱田南小学校、萱田中学校、萱田小学校、勝田台中央公園小体育館、勝田台南小学校、勝田台小学校、勝田台中学校、大和田南小学校
上下水管路等の耐震性能確保済み ³ の施設数 (令和5年度末時点)	0	
上下水管路等の耐震性能確保の目標施設数 ⁴ (令和11年度末迄)	1	東京女子医科大学八千代医療センター

¹ 目標は、水道事業者等と下水道管理者が相互に調整を行い、記載する。計画期間内に全ての対象施設で対策を実施することが困難な場合は、計画期間内に対策を実施する施設の選定方針や、計画期間外を含め全ての対象施設における対策実施時期の目安等についても記載する。

² 下水道処理区域内において地域防災計画等で定められている避難所や医療機関等、災害時に上下水道機能の確保が必要な重要施設をいう(緊急点検時における「特に重要な施設」と同じ定義)。

³ 重要施設に接続する水管路(配水本管・配水支管、配水池～避難所等の重要施設)と下水管路(避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水管路及びその途中にあるポンプ場)の双方の耐震機能を確保することをいう。

⁴ 耐震性能確保済みの施設数(令和5年度末時点)を含め、令和11年度末迄(計画期間は5年程度)に目標とする施設数をいう。

4 下水道処理区域外における避難所等の重要施設⁵の設定⁶

区分	下水道処理区域外における避難所等の重要施設	
	施設数	施設名称
対象全施設数	4	島田台総合病院, セントマーガレット病院, 新八千代病院, 道の駅やちよ
水道管路の 耐震性能確保済み ⁷ の施設数 (令和5年度末時点)	2	セントマーガレット病院, 新八千代病院
水道管路の 耐震性能確保の 目標施設数 (令和11年度末迄)	4	島田台総合病院, セントマーガレット病院, 新八千代病院, 道の駅やちよ

⁵ 下水道処理区域外において地域防災計画等で定められている避難所や医療機関等, 災害時に水道機能の確保が必要な重要施設をいう。

⁶ 水道事業者等が汚水処理施設の管理者等と調整を行い, 汚水処理施設に関する耐震化の状況や計画等を確認した上で設定するものとする。

⁷ 重要施設に接続する水道管路（配水本管・配水支管, 配水池～避難所等の重要施設）の耐震機能を確保することをいう。

« 八千代市 上下水道耐震化重点計画のうち 水道事業等に関する計画 »

5 水道システムの急所施設の耐震化(上水道事業及び水道用水供給事業)

(1)取水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ⁸
対象全取水施設	33	36,790	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	0	0	0
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	0	0

(2)導水施設(導水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全導水管(令和5年度末時点)	17,698	0	3,578	21,276	83.2	83.2
耐震化目標(令和11年度末迄)	18,321	0	2,955	21,276	86.1	86.1

(3)浄水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ⁹
対象全浄水施設	6	47,100	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	0	0	0
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	0	0

(4)送水施設(送水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全送水管(令和5年度末時点)	15,275	8,318	10,507	34,100	44.8	69.2
耐震化目標(令和11年度末迄)	15,275	8,318	10,507	34,100	44.8	69.2

(5)配水施設(配水池(配水塔含む)及び浄水池)

	箇所数(箇所)	有効容量(m ³)	耐震化率(%) ¹⁰
対象全配水池	17	51,435	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	6	12,652	25
耐震化目標(令和11年度末迄)	7	22,652	44

⁸ 取水施設の耐震化率=耐震対策の施された取水施設能力÷対象全取水施設能力

⁹ 浄水施設の耐震化率=耐震対策の施された浄水施設能力÷対象全浄水施設能力

¹⁰ 配水池の耐震化率=耐震対策の施された配水池有効容量÷対象全配水池有効容量

(6)ポンプ所(取水, 導水, 送水及び配水ポンプ所)

	箇所数(箇所)	施設能力($m^3/日$)	耐震化率(%) ¹¹
対象全ポンプ所	1	15,340	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	1	15,340	100
耐震化目標(令和11年度末迄)	1	15,340	100

6 避難所等の重要施設¹²に接続する水道管路の耐震化(上水道事業)

配水池～避難所等の重要施設までの水道管路(配水本管+配水支管)

(1)下水道処理区域内における避難所等の重要施設

	管路延長(km)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
避難所等の重要な施設に接続す る配水管(令和5年度末時点)	10,889	140	1,049	12,078	90.2	91.3
配水本管						
配水支管	10,889	140	1,049	12,078	90.2	91.3
耐震化目標(令和11年度末迄)	11,938	140	0	12,078	98.8	100

(2)下水道処理区域外における避難所等の重要施設

	管路延長(km)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
避難所等の重要な施設に接続す る配水管(令和5年度末時点)	5,699	259	426	6,384	89.3	93.3
配水本管						
配水支管	5,699	259	426	6,384	89.3	93.3
耐震化目標(令和11年度末迄)	6,125	259	0	6,384	95.9	100

※ 別添「下水道処理区域内における避難所等の重要施設概要図(上水道事業)」及び「下水道処理区域外における
避難所等の重要施設概要図(上水道事業)」参照

¹¹ ポンプ所の耐震化率=耐震対策の施されたポンプ所能力÷対象全ポンプ所能力

¹² 下水道処理区域外における避難所等の重要施設も含む

7 水道システムの急所施設の耐震化(簡易水道事業)

(1)取水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m^3 /日)	耐震化率(%) ¹³
対象全取水施設			
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)			
耐震化目標(令和11年度末迄)			

(2)導水施設(導水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全導水管(令和5年度末時点)						
耐震化目標(令和11年度末迄)						

(3)浄水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m^3 /日)	耐震化率(%) ¹⁴
対象全浄水施設			
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)			
耐震化目標(令和11年度末迄)			

(4)送水施設(送水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全送水管(令和5年度末時点)						
耐震化目標(令和11年度末迄)						

(5)配水施設(配水池(配水塔含む)及び浄水池)

	箇所数(箇所)	有効容量(m^3)	耐震化率(%) ¹⁵
対象全配水池			
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)			
耐震化目標(令和11年度末迄)			

¹³ 取水施設の耐震化率=耐震対策の施された取水施設能力÷対象全取水施設能力

¹⁴ 浄水施設の耐震化率=耐震対策の施された浄水施設能力÷対象全浄水施設能力

¹⁵ 配水池の耐震化率=耐震対策の施された配水池有効容量÷対象全配水池有効容量

(6)ポンプ所(取水, 導水, 送水及び配水ポンプ所)

	箇所数(箇所)	施設能力(m^3 /日)	耐震化率(%) ¹⁶
対象全ポンプ所			
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)			
耐震化目標(令和11年度末迄)			

8 避難所等の重要施設¹⁷に接続する水道管路の耐震化(簡易水道事業)

配水池～避難所等の重要施設までの水道管路(配水本管+配水支管)

(1)下水道処理区域内における避難所等の重要施設

	管路延長(km)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
避難所等の重要な施設に接続す る配水管(令和5年度末時点)						
配水本管						
配水支管						
耐震化目標(令和11年度末迄)						

(2)下水道処理区域外における避難所等の重要施設

	管路延長(km)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
避難所等の重要な施設に接続す る配水管(令和5年度末時点)						
配水本管						
配水支管						
耐震化目標(令和11年度末迄)						

¹⁶ ポンプ所の耐震化率=耐震対策の施されたポンプ所能力÷対象全ポンプ所能力

¹⁷ 下水道処理区域外における避難所等の重要施設も含む

« 八千代市 上下水道耐震化重点計画のうち 下水道事業に関する計画 »

9 下水道システムの急所施設¹⁸の耐震化

(1)下水処理場(揚水, 沈殿, 消毒機能に係る施設に限る)

	揚水施設		沈殿施設		消毒施設		揚水, 沈殿, 消毒機能に係る全ての施設 ¹⁹	
	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数								
耐震性能確保済みの箇所数 (令和5年度末時点)								
耐震性能確保の目標箇所数 (令和11年度末迄)								

(2)下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路²⁰

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長		
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)		
耐震性能確保の目標延長(令和11年度末迄)		

(3)下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までのポンプ場²¹

	ポンプ場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数		
耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)		
耐震性能確保の目標箇所数(令和11年度末迄)		

¹⁸ 下水処理場並びに下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路及びポンプ場をいう。なお、流域下水道の下水道管路及びポンプ場については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

¹⁹ 当該列において、「対象全箇所数」には、揚水、沈殿、消毒施設のいずれかを有する対象の処理場の箇所数を記入する。「耐震性能確保済みの箇所数（令和5年度末時点）」及び「耐震性能確保の目標箇所数（令和11年度末迄）」には、このうち、揚水、沈殿、消毒施設の全てで耐震性能を確保した処理場の箇所数等を記入する。その際、揚水、沈殿、消毒施設のいずれかを持たない処理場について、存在しない施設は耐震性能確保済みとカウントする。（例：揚水施設を持たない処理場について、沈殿、消毒施設が耐震性能確保済みであれば、カウントする。）

²⁰ 流域下水道の下水道管路については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

²¹ 流域下水道のポンプ場については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

10 避難所等の重要施設に接続する下水管路等の耐震化

(1) 避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水管路

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	9.9	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	0	0
耐震性能確保の目標延長(令和11年度末迄)	1.3	13.1

(2) 避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水管路の途中にあるポンプ場²²の箇所数

	ポンプ場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	0	
耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)		
耐震性能確保の目標箇所数(令和11年度末迄)		

※ 別添「下水道処理区域内における避難所等の重要施設概要図(下水道事業)」参照

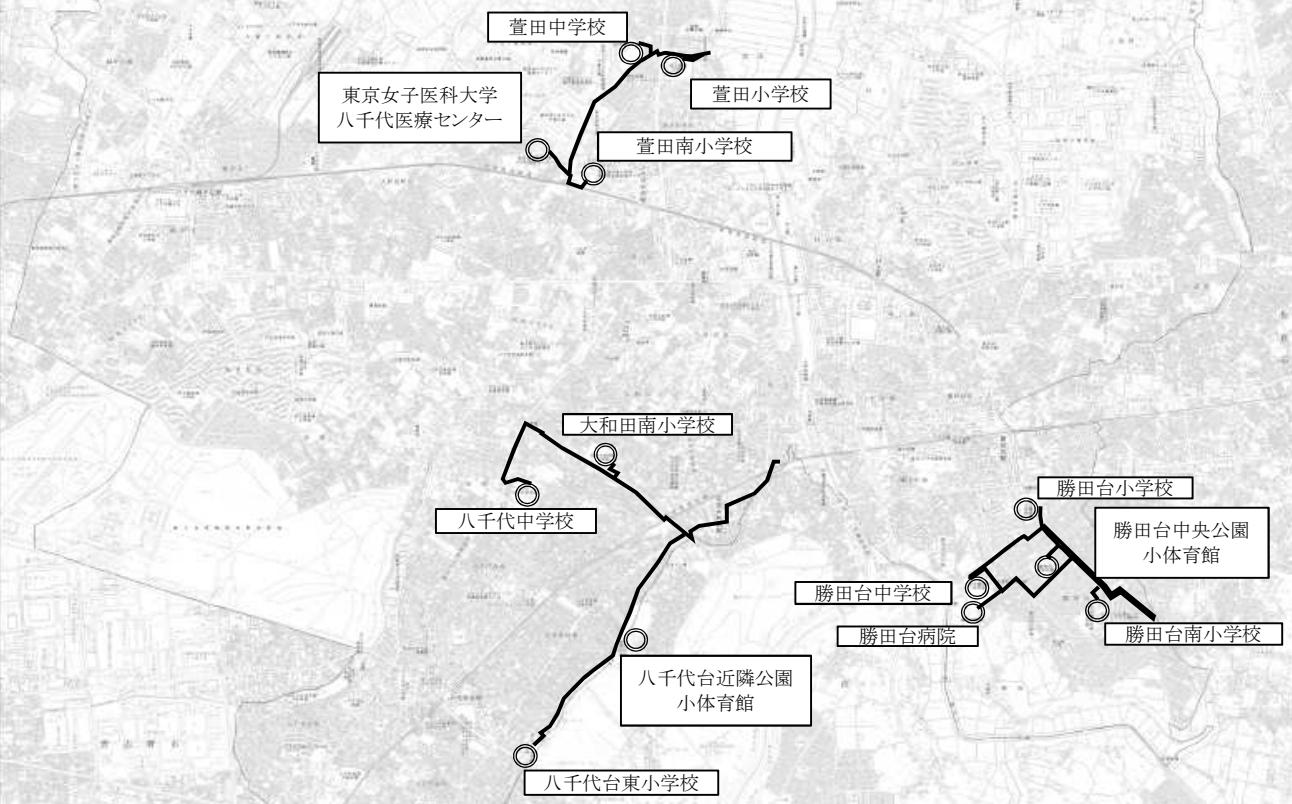
以上

²² 最終合流地点にあるポンプ場は含まない。

下水道処理区域内における避難所等の重要施設概要図（下水道事業）

対象延長及びマンホール数

No	施設名	対象延長(m)	マンホール数	備考
1	東京女子医科大学八千代医療センター	1,340.76	42	
2	萱田南小学校	226.45	7	○東京女子医科大学八千代医療センターとの重複箇所は除外。
3	萱田中学校	179.10	7	○東京女子医科大学八千代医療センターとの重複箇所は除外。
4	萱田小学校	100.20	3	○東京女子医科大学八千代医療センターとの重複箇所は除外。
5	八千代中学校	2,145.81	51	
6	大和田南小学校	98.90	3	○八千代中学校のルートとの重複箇所は除外。
7	八千代台東小学校	1,747.36	65	○八千代中学校のルートとの重複箇所は除外。
8	八千代台近隣公園小体育館	0.00	0	○八千代台東小学校からのルート上に接続箇所あり。
9	勝田台病院	3,149.03	79	
10	勝田台中学校	218.90	7	○勝田台病院のルートとの重複箇所は除外。
11	勝田台南小学校	150.00	4	○勝田台病院のルートとの重複箇所は除外。
12	勝田台中央公園小体育館	170.90	5	○勝田台病院のルートとの重複箇所は除外。
13	勝田台小学校	377.68	12	○勝田台病院のルートとの重複箇所は除外。
計		9,905.09	285	



下水道処理区域内における避難所等の
重要施設概要図(上水道事業)

S=1:10000

No.	場所	耐震管	耐震適合管	非耐震管	合計	備考
1	東京女子医科大学八千代医療センター	1,597	0	0	1,597	
2	萱田南小学校	314	0	398	712	○東京女子医科大学八千代医療センターのルートとの重複箇所は除外。
3	萱田中学校	0	0	0	0	○東京女子医科大学八千代医療センターのルート上に接続箇所あり。
4	萱田小学校	255	100	165	520	
5	八千代中学校	1,456	0	0	1,456	○東京女子医科大学八千代医療センター・大和田南小学校のルートとの重複箇所は除外。
6	大和田南小学校	2,057	40	266	2,363	○東京女子医科大学八千代医療センターのルートとの重複箇所は除外。
7	八千代台東小学校	1,523	0	0	1,523	
8	八千代台近隣公園小体育館	1,643	0	120	1,763	○八千代台東小学校のルートとの重複箇所は除外。
9	勝田台病院	986	0	25	1,011	
10	勝田台中学校	37	0	0	37	○勝田台病院のルートとの重複箇所は除外。
11	勝田台南小学校	400	0	0	400	○勝田台病院のルートとの重複箇所は除外。
12	勝田台中央公園小体育館	262	0	25	287	○勝田台病院のルートとの重複箇所は除外。
13	勝田台小学校	359	0	50	409	○勝田台病院のルートとの重複箇所は除外。
	合計	10,889	140	1,049	12,078	
	割合	90.2%	1.2%	8.6%	100.0%	



下水道処理区域外における避難所等の
重要施設概要図(上水道事業)

S=1:10000

No.	場所	耐震管	耐震適合管	非耐震管	合計	備考
1	島田台総合病院	2,298	0	111	2,409	
2	セントマーガレット病院	1,862	225	105	2,192	○井戸
3	新八千代病院	1,374	34	0	1,408	
4	道の駅やちよ	165	0	210	375	○新八千代病院のルートとの重複箇所は除外。
	合計	5,699	259	426	6,384	
	割合	89.3%	4.1%	6.6%	100.0%	

